



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

平成25年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」助成
アートマネジメント人材育成関連事業



お茶の水女子大学主催 アンサンブル・ノマド特別演奏会

ケージとメシアンの間で交わす 自然と宇宙に関する往復書簡

1/21
2014 TUE

会場: 金沢21世紀美術館

時間: 18:00開場 18:30開演

O.メシアン:《鳥のカタログ》(1956-58) より

No.2: コウライウグイス

Olivier Messiaen: Catalogue d'oiseaux – No.2: Le Loriot

J.ケージ: 竜安寺 (1983-85)

John Cage: Ryoanji

O.メシアン:《世の終わりのための四重奏曲》(1941)

より I: 水晶の礼拝

Olivier Messiaen: Quatuor pour la fin du Temps

I: Liturgie de cristal

J.ケージ: 風景のなかで (1948)

John Cage: In a Landscape

J.ケージ: Five (1988)

John Cage: Five

J.ケージ:《アモーレス》(1936/1943) より II: トリオ

John Cage: Amores – 2nd Moevemnt: Trio

O.メシアン: 主題と変奏曲 (1932)

Olivier Messiaen: Thème et variations

J.ケージ: 18回目の春を迎えた素晴らしい未亡人(1942)

John Cage: The Wonderful Widow of Eighteen Springs

J.ケージ: リビングルーム・ミュージック (1940)

John Cage: Living Room Music

O.メシアン:《世の終わりのための四重奏曲》(1941) より V: イエスの永遠性への賛歌

Olivier Messiaen: Quatuor pour la fin du Temps V: Louange à l'Éternité de Jésus

O.メシアン:《みどり児イエスにそそぐ20の眼差し》(1944) より IV: 聖母のまなざし

Olivier Messiaen: Vingt Regards sur l'Enfant-Jésus IV: Regard de la Vierge

出演者

木ノ脇道元 (Fl) 西尾郁子 (Cl) 花田和加子 (Vn)
甲斐史子 (Vo) 金子鈴木太郎 (Vc) 佐藤洋嗣 (Cb)
稲垣 聡 (Pf) 宮本典子 (Perc) 佐藤紀雄 (Cond)

音響: 有馬純寿

この公演は、平成25年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」助成事業として、お茶の水女子大学が主催して行うものです。この助成は「劇場法」の制定に関連して今年度から始まったもので、アートマネジメント関連の人材育成を主眼としています。本学では「現場主義」と総合大学である事による「学際性」を特色とした、「ナレッジマネジメント力を核とするアートマネジメントスタッフの育成」のプロジェクトとして採択されております。当公演は現場スタッフの育成プログラムの一環として企画・実施されたものを、聴衆の皆様には通常の演奏会同様にお楽しみいただく形となっております。

尚、裏面記載のシンポジウムやワークショップ、東京で開催したアートマネジメントに関する講義のサテライト講座も開催されます。

詳しくはホームページ<http://www.ocha.ac.jp/program/atoma/>をご覧ください。

一般: 1,000円 (全席自由: 前売り・当日とも)

(就学前のお子様の同伴・ご来場はご遠慮下さい)

■チケットお問い合わせ先: お茶の水女子大学アートマネジメント事業推進室

メール: atoma@cc.ocha.ac.jp FAX: 03-5978-5277

■主催: お茶の水女子大学

アートマネジメント事業推進室

■助成: 平成25年度 文化庁

大学を活用した文化芸術推進事業





お茶の水女子大学
Ochanomizu University

平成25年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」助成
アートマネジメント人材育成関連事業



お茶の水女子大学主催 アンサンブル・ノマド特別演奏会
ケージとメシアンの間で交わす自然と宇宙に関する往復書簡

思想も作曲技法も全くことなる二人の作曲家が会い対話をはじめ、そんな妄想から生まれたプログラム。「ケージ(1912-1992)とメシアン(1908-1992)の間で交わす自然と宇宙に関する空想の往復書簡」と題して、二人の没後10年の年に行ったアンサンブル・ノマド定期公演の内容を一部変更して再演するプログラム。

アンサンブル・ノマド 佐藤紀雄



佐藤紀雄 (Cond)



木ノ協道元 (Fl)



西尾郁子 (Cl)



花田和加子 (Vn)



甲斐史子 (Va)



金子鈴太郎 (Vc)



佐藤洋嗣 (Cb)



稲垣 聡 (Pf)



宮本典子 (Perc)

音響:有馬純寿

Ensemble NOMAD

1997年、ギタリスト佐藤紀雄の呼びかけによって集まった、無類の個性豊かな演奏家によって結成されたアンサンブル。「NOMAD」(遊牧、漂流)の名にふさわしく、時代やジャンルを超えた幅広いレパートリーを自在に採り上げ、斬新なアイデアやテーマによるプログラムによって独自の世界を表現するアンサンブルとして内外から注目されてきた。2002年度に行った定期演奏会「ケージとメシアンの間で交わす自然と宇宙に関する往復書簡」は、大きな反響をよび、サントリー音楽財団「第2回佐治敬三賞」を受賞した。海外からの招待も多く、2000年オランダの「ガウデアムス音楽週間」、2003年ベネズエラで行われた「フェスティバル・アテンポ」、2005年11月パリで行われた「フェスティバル・アテンポ」およびイギリスの「ハダースフィールド現代音楽祭」、2007年にはメキシコの「モレリア音楽祭」、また、2008年10月にはソウルでの「パン・ムジーク・フェスティバル」などに出演。2009年秋には、中国の北京首都師範大学、北京中央音楽学院、四川音楽学院で中国人作品を中心としたプログラムの公演を行い、好評を博した。2011年には2度目の韓国公演を開催。2013年7月にはエストニアとオランダで公演を開催。今後もスイス、フィンランド、メキシコなどでの公演を予定している。また、近年ではアウトリーチ活動にも積極的に取り組み、保育所、病院、小学校、特別支援学校等で訪問コンサートやワークショップを行っている。

CDは、近藤 譲「梶子」(ALCD-47)、「空の眺め」(ALCD-57)、「オリエント・オリエンテーション」(ALCD-67)、石田秀実「神聖な杜の湿り気を運ぶもの」(ALCD-60)、池辺晋一郎「炎の資格」(CMCD-28121)、福士則夫「花降る森」(CMCD-28128)が発売されている。2011年秋にはエベルト・ヴァスケスの「Bestiario (動物寓話集)」が海外でリリースされているほか、2012年11月にリリースされた近藤 譲作品集「表面・奥行き・色彩」が現在好評発売中である。

北陸シンポジウム(金沢)

2014年1月21日(火) 於:金沢21世紀美術館

現代音楽はなぜ必要なのか?—演奏と事業企画の現場から(16:00~)

司会:近藤 譲(作曲家、お茶の水女子大学名誉教授)

出席予定者:佐藤紀雄(ギタリスト、アンサンブル・ノマド音楽監督)

森川栄子(愛知県立芸術大学准教授)、有馬純寿(帝塚山学院大学准教授)、

近藤恭代(金沢21世紀美術館)

ワークショップ:2014年1月22日(水)(12:00~) 於:金沢21世紀美術館

演奏:アンサンブル・ノマド

*シンポジウム/ワークショップ(共に無料)には整理券が必要になります(開演15分前より配布いたします)尚、コンサートのチケット/半券をお持ちの方は開演前から開演15分前まで優先的にご入場頂けます。

金沢21世紀美術館

〒920-8509 石川県金沢市広坂1丁目2番1号 Tel: 076-220-2800

※JR金沢駅より

【路線バス】JR金沢駅バスターミナル 東口7~10番、西口5番乗り場よりバスにて「香林坊(アトリオ前)」下車(所要約10分)、徒歩約5分。

【城下まち金沢周遊バス】JR金沢駅東口バスターミナル3番乗り場から約20分「広坂(石浦神社前)」にて下車すぐ。

【ふらっとバス】菊川ルート「21世紀美術館」もしくは「市役所・柿木島」にて下車すぐ/材木ルート「市役所・21世紀美術館」にて下車すぐ。

【タクシー】JR金沢駅東口タクシー乗り場から約10分。